

森林病虫害等防除実証事業（海岸防災林）について

1 海岸防災林の現状と課題

東日本大震災により被災し、マツの植栽により復旧した海岸防災林は、10年を経過する箇所もあり、一部ではマツの樹高が3mを超えるなど、成林化が進んでいる。

一方、僅かではあるものの、松くい虫被害が発生している地域もあり、海岸防災林の機能維持・保全を図るため、防除の推進が課題となっている。

2 森林病虫害等防除実証事業（海岸防災林）について

上記課題への対応として、県内海岸防災林における松くい虫防除の実証事業を行った。

(1) 事業概要

令和6年度事業

①事業内容

薬剤散布（無人ヘリ）、薬剤安全確認調査（大気・水質）、昆虫影響調査

②実施箇所

仙台市、岩沼市、亘理町、東松島市、気仙沼市 地内

③薬剤散布実施面積

A=18.7ha

(2) 実施状況

各箇所午前5時から開始し、1haあたり平均8分程度で散布し、効率的かつ迅速に実施できた。また、30m程度離れた区域外の防潮堤等に設置した誤散布確認用の飛散板には薬剤が付着しておらず、安全に散布することができた。

(3) 実施結果

①水質・大気調査

全ての調査地点において測定下限値以下となり、人体、魚介類の影響はなかった。

②昆虫影響調査

薬剤散布の結果、昆虫類に対して与える影響については、軽微なものである可能性が示唆された。

3 今後の予定

調査結果から、海岸防災林の現況を考慮した上で、実施の優先順位を決定し、段階的に海岸防災林における薬剤散布を行う。令和7年度においては、近接する残存林の松くい虫被害や植栽木に被害が見られる亘理町の海岸防災林（県有分）を実施予定。

